

第 2 部 交流分科会

第 1 分科会

第2部 交流分科会

第1分科会：「都市・農村交流の推進と草原再生に向けた情報発信」

地産地消を軸とした都市・農村交流への期待

阿蘇フォーラム事務局長

宮本孝志

プロフィール

- 昭和31年 熊本県生まれ
- 昭和61年 阿蘇郡白水村にペンション「森のアトリエ」開業
- 平成8年 南阿蘇ルナ天文台開業
- 平成10年 阿蘇学びの館ネットワーク発足、会長就任
- 平成13年 阿蘇フォーラム発足、事務局長就任
- 平成14年 阿蘇リーグ発足、情報交流委員長就任

発言要旨

- 1) 具体的に行われている地産地消を軸にした都市・農村交流の事例について
 - (ア) 阿蘇フォーラム 地域づくりのゆるやかなネットワーク
「阿蘇フォーラムまるごとフェスタ」

第1回	2001年	12月	1日～2日
第2回「阿蘇の食と農」	2002年	11月30日	～12月1日
第3回「阿蘇の食と農」	2003年	10月25日	～26日
 - (イ) 阿蘇リーグ 2003年度活動方針「地産地消のツーリズム」
「阿蘇まるごとフェスタ in 博多」

第1回	2003年	3月1日	～2日
第2回	2003年	10月4日	～5日
- 2) その考えの基となる地域連携システムの話
 - (ア) 地域づくり活動の地域内ネットワーク = 阿蘇フォーラム
 - (イ) 農業・商工・観光と地域づくりの地域内連携 = 阿蘇リーグ
 - (ウ) 行政・営利事業・非営利活動 = パートナシップと地域経営システムへ
- 3) 阿蘇型の循環型地域システムの象徴としてとらえる草原の姿
 - (ア) 畜産と農業を基盤とした、歴史的な循環型社会
 - イ 阿蘇モデル = 資源とエネルギーのこれからの循環型社会のモデルとして

「阿蘇ファン」づくりの試みと反響

阿蘇テレワークセンター所長
高野勝則

プロフィール

1954年 熊本県阿蘇町生（49歳）

1979年 阿蘇町役場入庁。建設課、企画総室を経て、現在、地域振興課阿蘇テレワークセンター所長。

発言要旨

1. 阿蘇ファンクラブ設立の主旨と経緯

情報共有化と阿蘇のポータルサイトの立ち上げ

- ・ 地域の異業種間の情報共有の場として
- ・ 阿蘇大好きな人たちと阿蘇地域との交流や地域応援の仕組みづくりのツールとして

運営方法と活動内容

- ・ ボランティア団体、各種団体などが運営の主体
- ・ まずは、身近な阿蘇情報の発信から、そして交流ネットワークへ

2. 今後の展開と課題

地域コミュニティ・ネットワークの拡大

- ・ 地域活動と連携した情報受発信体制づくりへ向けて

ファームステイを受け入れて

農家れすとらん・民泊「田子山」経営者
小野聖子

プロフィール

昭和 24 年 生まれ
昭和 49 年 就農
平成 5 年 熊本県農業賞（自立経営部門）受賞
平成 8 年 全国女性農業者会議会員
平成 10 年頃 ファームステイ受け入れ開始
平成 11 年 農家れすとらん「田子山」経営

発言要旨

一貫農業経営

生産部門

水稲：有機米

畜産：あか牛一貫経営

大観峯を放牧地として原野、山林等で周年放牧

山林：グリーンツーリズムの場として杉主体の山林から間伐・自然林へ

直販部門

農家れすとらん経営

安心、安全な生産物を提供。「食と農」でもてなす場。

ファームステイへの取り組み

動機

子ども達は

今後の取り組みとして